

研究活動

高倉正行

著書、学術論文等の名称	単著共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称	概要	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)						
(学術論文)						
1. 空間と意識の位相—挿話	単著	1981. 12	PORESIS 9	英国小説家Arthur Mackenの小説 The Novel of the Blackの登場人物の意識とその登場人物が占める空間との相互作用を論じたもの。		30頁
<i>The Novel of the Black Seal</i> の分析			関西大学大学院英語 英米文学研究室			
2. ラファエロ前派と世紀末	単著	1983. 7	世紀末研究 7 JCA出版	Pre-Raphaelite Brotherhoodと世紀末芸術の関係を述べたもの。		
3. 浮遊する指標—Anashuya and Vijaya の詩を中心にして—	単著	1986. 2	PORESIS 13	W. B. Yeatsの詩、"Anashuya and Vijaya"に登場するヴィジャヤの浮遊する状態を述べたもの。		23頁
			関西大学大学院英語 英米文学研究室			
4. 理解度をもとにした授業 —「ブロック制」の試み	共著	1986. 5	一般教育学会誌 8-1 一般教育学会	日本文理大学において、英語の理解度別のクラスを作り、その結果をまとめたもの。	共著(沖野隆久、 大久保渡、高倉正行)	9頁
5. ラファエロ前派結成以前 (一) —ウィリアム・ホルマン・ハントとジョン・エバレット・ミレー—	単著	1988. 2	日本文理大学紀要 16-1	Pre-Raphaelite Brotherhoodの結成前のハントとミレーの境遇を述べたもの。		16頁
6. ガブリエル・ダンテ・ロセッティ —ロセッティの家系図—	単著	1989. 9	密教文化165 高野山大学	D. G. ロセッティの父親・母親の家系を調べたもの。		
7. 初期ラファエル前派における自然主義的態度について	単著	1990. 3	密教文化170 高野山大学	P. R. B. の主要メンバー、ロセッティ、ハント、ミレーの自然主義的態度の相違を述べたもの。		18頁
8. ラファエロ前派結成以前 (二) —ダンテ・ガブリエル・ロセッティ—	単著	1990. 9	ハーモニー 高野山大学英米文学 専攻	Pre-Raphaelite Brotherhoodの結成前のロセッティについて述べたもの。		12頁
9. ラファエロ前派結成以前 (三) —ダンテ・ガブリエル・ロセッティ—	単著	1991. 8	密教文化175 高野山大学	Pre-Raphaelite Brotherhoodの結成前のロセッティについて述べたもの。		22頁
10. ラファエロ前派同胞団結成前夜	単著	1992. 2	高野山大学論叢27	ラファエロ前派同胞団結成前夜のロセッティ、ハント、ミレーについて述べたもの。		18頁
11. 19世紀初頭の英国絵画について (1)	単著	1994. 2	高野山大学論叢29	英国初の半官半民の絵画組織、The Royal Academy of Artsの歴史と英国絵画について述べたもの。		24頁
12. 19世紀初頭の英国絵画について (2)	単著	1994. 9	密教文化187	19世紀初頭の私設の絵画組織について述べたもの。		33頁
13. 19世紀初頭の英国絵画について (3)	単著	1995. 2	密教文化190	ナショナル・ギャラリー創設について述べたもの。		29頁

18. 『18世紀英国におけるRaphaelのCartoonsについて』	単著	2013. 2	高野山大学論叢第48巻	英国絵画理論の根底にあったと思われるラファエッロのCartoonsの歴史背景を考察したもの。	15頁
1. ビアズレーの魔性 (Bernard Muddiman, "The Men of the Nineties")	単著	1979. 7	第二次ヴァリエテ創 刊準備号 J C A出版	翻訳	
2. ギュスターブ・モロオ論 (Arthur Symons)	単著	1980. 12	世紀末研究3 J C A出版	翻訳	
3. ユイスマン断章II (Havelock Ellis, "The New Spirit")	単著	1986. 9	日本文理大学紀要 14-2 J C A出版	翻訳	
4. A Bad Example and Good Manners	共著	1987. 1	モーム遺作集 旺史社	注釈	
5. イエロー・ブックとサ ヴォイ誌	単著	1987. 3	ごんた1 ごんた集団	翻訳	
6. 欧米文学にみられる生死観 —英国の詩における死について—	単著	1999. 3	生命倫理講座講義録 (平成10年度)		19頁
7. ブレイク伝	共著	2002. 2	みずさ書房	翻訳	
8. 日本の思い出 フランシス・キング講演	単著	2010. 4	フランシス・キング研究 (The Francis King Society of Japan)	翻訳	3頁

所属	文学部	職名	教授	氏名	高倉正行	大学院の授業担当の有無 (無)
教育活動						
教育上の主な業績		年月日	概 要			
1. 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)			<p>授業にパソコンを活用し、文献の検索、情報の収集、レポートの作成指導を行っている。</p> <p>本年度より新入生にパソコンの導入がおこなわれ、それを機会に新入生対象の英語授業にPC、Eメール、インターネット等の説明が平明に書かれたテキストを使ってみた。英語の苦手な学生でもパソコンや様々なソフトの具体的知識に導かれ、英語で書かれた内容を理解でき、興味を抱いたように思われる。しかしその反面、全くPCに関心のない学生は、この必要を認めながらも、英語に関心を示さなかった。これは新入生全員に対するPC所持の義務づけ、学生のPC利用の機会の少なさ等が、その原因にあげられると思う。</p>			
2. 作成した教科書、 教材、参考書 A Bad Example and Good Manners (モーム遺作集)		1987.1 (旺文社) 共	大学用英語テキスト 注釈			
3. 教育方法・教育実践 に関する発表、講演等 理解度をもとにした授業 -「ブロック制」の試み		1986.5 共	一般教育学会誌 8-1 (一般教育学会)			
英語運用能力を磨くインターネット活用法		2005.8 共	教育システム情報学会30回記念大会(金沢学院大学にて)			
インターネットを用いた英語学習方法		2006.9 共	平成18年度・私学大学情報教育協会主催大学教育・情報戦略大会 大学教育・情報戦略大会にて			
情報処理能力および英語運用能力向上の		2007.9 共	教育システム情報学会第32回全国大会(信州大学)			
英語学習へのハイパーリンク活用 -オンライン活用によるItinerary作成		2007.9 共	会にて 大学教育・情報戦略大会			
ITを活用した多次元英語教材プレゼンテーション		2008.9 共	平成20年度 教育改革IT戦略大会			
情報拡張型のデジタル英語教材作成		2008.9 共	教育システム情報学会第33回全国大会(熊本大学)			
ジョン・エヴァレット・ミラー-オフィーリア解題-		2009.8 単	高野山大学 夏期セミナー発表			
4. その他教育活動上 特記すべき事項			桃山学院大学非常勤講師			

